

D 小学校の取組

◎学校の実態	<ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康で欠席も少なく、日頃より学習や運動等に真面目に取り組む姿や、縦割り活動や休み時間に上級生が下級生の面倒をよく見る姿も見られる。 ・基本的な生活や学習習慣などが比較的定着しているが、全体的に学力は低い傾向であり、二極化も見られ、自己有用感が低い。学習において特別な支援を必要とする子供も多く、特別支援学級も2学級設けられている。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○教員の状況及び願い	
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢構成のバランスがよく、学力向上特配が1ある。 ・子供たちが根拠を明確にして自信をもち、考えを説明できるようになって欲しいと考えている。 ・子供たちに、「分かった」「できた」という成就感や満足感をもちたいという願いがある。 	

□教育課程編成の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。 ・子供が主体的に判断し、行動できるような場面を意図的に取り入れていく。 ・子供が頑張れる場を設定し、励ましてやり遂げさせて、よさを認めていく。
--------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【学力向上全体計画】	<p>★(1) 指導体制の工夫・改善及び教員の指導力の向上 ★(2) 学校全体での特別支援教育の充実</p> <p>※6項目11の施策の中から、特に重点をおいた取組を示す。</p> <p>【進捗状況をもとる中で重点を置いた内容】</p> <p>★学習指導における基礎・基本の押さえの強化(児童の基礎力を付けることに対する共通理解)</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

他にも6項目11の施策

□教育課程編成の基本方針

他にも6項目11の施策

★(1) 指導体制の工夫・改善及び教員の指導力の向上
★学習指導における基礎・基本の押さえの強化

- ① 思考力を育む授業の充実
- ② 指導力向上に向けた研修の充実
- ③ 学力向上担当による指導の充実



校内研修の様子

★(2) 学校全体での特別支援教育の充実

- ① 特別支援教育の視点を各学級指導に生かす
- ② 県教育委員会の特別支援教育課からの専門的な指導・助言

成果と課題

○算数科を中心に授業改善を進める中で、どのような授業が思考力・判断力・表現力をはじめとした資質・能力を伸ばすことにつながるのか全体で共有できた。また、各教員に指導力の向上を図る気運が高まった。

●学習指導における基礎・基本の押さえについて、共通理解を図ることは十分してきたが、より子供の学力向上に結び付けられるよう、今後も継続して各教員の指導方法を見直しなが、よりよい方策を追究していく必要がある。

★ (1) 指導体制の工夫・改善及び教員の指導力の向上

校内研修～研修主題～

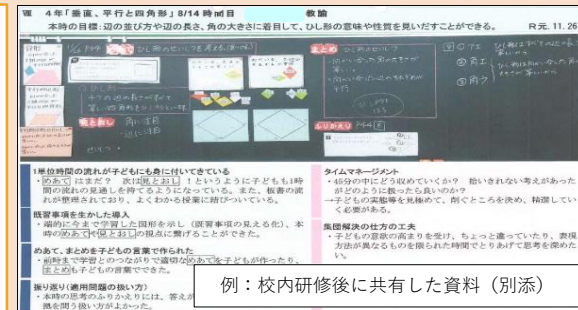
主 題 意欲的に学習に取り組む児童の育成 ～算数科における数学的な表現を用いて説明する活動を通して～



1 授業

① 思考力を育む授業の充実

- 算数科を校内研修の中心に据え、数学的な表現を用いて説明することのできる児童の育成を目指し、「はばたく群馬の指導プランⅡ」を活用した授業改善を図った。
- 構造的な板書を意識し、「ねらい」「見通し」「まとめ」「振り返り」を明示するとともに、具体と抽象を対応させて思考を促し、子供主体の授業への転換を図った。



例：校内研修後に共有した資料（別添）

【研修主任の声】

休校中の模擬授業を含めると20回の授業公開、研究会を重ねた。これにより、検討会も研究会も視点をもって、短時間で次につながる話し合いをもつことができるようになっている。

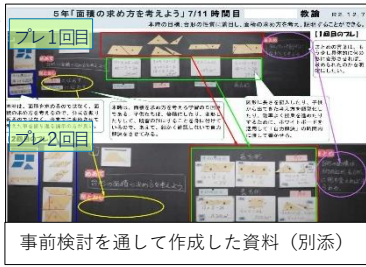
**職員が一枚岩となり
全員が主人公の授業研究**

【担任の声】

下位群は、手厚く教えてもらえて安心でき、わかる喜びを感じている。上位群は、プレミアム問題に意欲的に取り組んで思考力を伸ばしている。

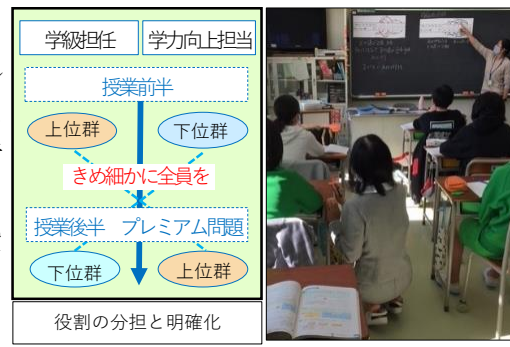
② 指導力向上に向けた研修の充実

- 授業の事前検討と2回のプレは、板書計画に基づき、話し合う内容を焦点化し、研究会も短時間で効果的に話し合いを進め、次の実践に生かすことを意識した積み上げる研修とした。
(実現・持続可能・働き方改革の視点)
- 年度途中からは、学力向上の取組の進捗状況を見とる中で見出した「基礎・基本の押さえの強化」も視点とし、研究会を進めた。



③ 学力向上担当による指導の充実

- 学力向上担当は、前半は下位群の子供の支援、たしかめ問題で上位群のプレミアム問題の準備と処理を行い、学級担任はたしかめ問題で下位群の支援をし、役割を明確にしなが、子供の学力の向上を目指した。



★ (2) 学校全体での特別支援教育の充実

① 特別支援教育の視点を各学級指導に生かす

- 学習指導を進める上でのポイントを改めて見直した。
全員で共通理解したポイント…子供に伝える情報の整理(視覚・音声等の視点)
例:授業で扱う内容及び事実、子供の意見や考え等の色分け、「学習の手順」や「思考の過程」の視覚化 等

② 県教育委員会の特別支援教育課からの専門的な指導・助言

- より専門的な視点から、特別支援学級の環境構成や児童支援へのアドバイスをもらったり、通常学級において特別な指導を要する子供への指導の在り方等を助言したりしてもらった。

【特別支援教育コーディネーターの声】 特別支援学級の情報整理を行ったために、子供が集中して課題に取り組めるようになったり、授業に対する意欲も高まったりした。また、通常学級では、指示や提示の仕方について、全職員で共通理解を図ることができた。